



2023年招收攻读硕士学位研究生入学考试试题

招生专业与代码：日语笔译 055105

考试科目名称及代码：翻译硕士日语 213

考生注意：所有答案必须写在答题纸（卷）上，写在本试题上一律不给分。

※ 答题纸书写要求：选择题请按照以下格式答题。

例：1. _____ 2. _____ 3. _____ 4. _____ 5. _____
6. _____ 7. _____ 8. _____ 9. _____ 10. _____

一、語彙（1点×10問＝10点）

問1 次の文の下線をつけた言葉の読み方をA、B、C、Dから一つ選びなさい。

1. 無実の罪に陥れられた人を救おう。

A おぼれられた B おとしいれられた C まぬがれられた D のがれられた

2. 稲を刈る風景は、どこの国でも同じだ。

A かる B きる C ける D わる

3. その事件は、地域の平穏な生活を脅かした。

A ひやかした B おびやかした C おどろかした D たぶらかした

問2 次の文の下線をつけた言葉の漢字をA、B、C、Dから一つ選びなさい。

4. 昨日してくださったお話のおもむき、私なりに承知いたしました。

A 赴き B 働き C 趣 D 主向き

5. 彼が白い歯を見せてほがらかに笑った。

A 明らか B 爽らか C 健らか D 朗らか

6. 弁護団の一行は、社長のさしずに従って行動していた。

A 指示 B 指図 C 點頭 D 指頭

問3 ()に入れるのに最も良いものを、A、B、C、Dから一つ選びなさい。

7. この本は、出版後わずか1年で()された。

A 改革 B 改定 C 変革 D 改訂

8. 日本のメーカーは、輸入した原材料を()して商品を生産する会社が多い。

A 加担 B 工夫 C 加工 D 細工

9. 子供が毎日ゲームに夢中になるのは、健康上からも()こととは言えない。

A このましい B めざましい C みぐるしい D なまぬるい

10. 花火見物の中には、浴衣姿の()若者も見られた。

A ろくな B はんばな C いきな D おごそかな

二、文法 (1 点×20 問=20 点)

() に入れるのに最も良いものを、A、B、C、D から一つ選びなさい。

11. 今日はいつ () 寒い日だった。

A にもまして B たりとも C をおいて D ですら

12. 山田さんは貧しい家庭で育ったの ()、大学院まで入って教授になった。

A をものともせず B をかわきりに C とおもいきや D とひきかえに

13. 林さんが辞めた ()、バイトを早く探さなければならない。

A だけに B ばかりに C ばかりと D びぬばらず

14. 今年大企業にも入ったし、彼女もできた。いいこと () だった。

A づくめ B だらけ C まみれ D ともなく

15. こんな結果になると分かっていたら課長を信用しなかった ()。

A ことを B ものを C ばかりを D しまつを

16. 先生にお伺いしたいことがあったが、昼休み中のこととて、連絡を ()。

A とらざるをえなかった B とりようがなかった

C とらないわけでもなかった D とるほかなかった

17. アメリカは多くの赤字を抱えている。しかし、貿易事業にばかり国の金を使っているのは景気が回復する可能性など ()。

A ありはしない B ありかねない C あるものを D あるまでだ

18. いくら自分の店じゃないと ()、責任をもって働かなくてはいけない。

A いえば B いうなら C いえども D いうなり

19. こんな夜明けに大きい声で歌を歌うなんて、不愉快 ()。

A きわまっている B きわまらない C きわまりない D かぎりない

20. 親は私が弁護士になってほしいと言うんだ。でも親の願望も () 私の気持ちももっと大事だと思う。

A ものともせず B さることながら C かかわらず D よそに

21. 下記に転居しました。お近くに () の節はぜひお立ち寄りください。

A おじゃま B おこし C おあり D おいき

22. 彼に成功をもたらしたものは、日々の努力 ()。

A でいられない B であたらない C にほかならない D にもとなわない

23. 次回の交渉では、相手の態度の () にかかわらず、こちらはこちらの主張を貫き通すつもりだ。

A 多少 B 次第 C ごとき D いかん

24. 散歩 ()、ちょっとたばこを買ってきます。

A ばかり B ごとき C がてら D ながら

25. 初めてそこを訪れたとき、() 美しい街だろうと思った。

A いかほど B なんという C いかにか D なにほど

26. あの役者のきざな恰好は、まったく見るに ()。

A たまらない B たえない C おえない D かたくない

27. 新入社員が入ってくると、急に先輩（ ）口のきき方をする人が多い。
A のふりで B ぶった C っぷりの D ぶりの
28. 何もおっしゃらないでください。私なりによく考えた（ ）出した結果なのです。
A わけで B すえに C かぎり D さいご
29. 新校舎の完成は大幅に遅れているらしい。現状（ ）あと1か月はかかりそうだ。
A からすると B までしても C とともに D によって
30. 「はい、頑張ります！」と口では（ ）、なかなか実行できないのが現実だ。
A 言わずに B 言いながらに C 言うまでもなく D 言いながらも

三、読解 (40 点)

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

選択問題 $2 \times 10 = 20$ 点 ; 記述問題 $4 \times 5 = 20$ 点。

文章 I

ある有名なインタビューアーが、「いろいろな人に会わなくちゃならなくて、たいへんですね。いい人、好きな人だけじゃなくて、いやな人、きらいな人もいるでしょうね」と言われて、「いいえ、はじめから好きな人、きらいな人、ということはありません。はじめは虚心でその人に会うようにしています。最低限、その人に好意と関心をもつようにして」と言っていたのが①印象的である。

私たちは、人づてに聞いたことや、会ったときの印象で、ある程度、相手の人柄を決めてしまいがちである。

その人の容貌や服装やからだの特徴や、ことばづかいや動作や姿勢、さらにまた、職業や年齢や出身、経験、社会的地位などといったものからでも、どんな人か、何らかの先入観を抱く。出会ったときの、自分側の条件や、その場面にもよるわけだが、②そういうことを割り引いて、冷静に考える人はまれで、たいていは、自分のこれまでの体験から、あれはこういう人だ、というイメージをつくり上げる。過去の経験で似た人がいれば、その人の印象が重なってくる。意識的に払いのけようとしても、この第一印象は、強い影響をあとに残す。

(中略)

結婚のための見合いのような場合、内心強い劣等感を持っていて、きらわれるのではないかという恐れを抱いていると、相手に対する見方にも、バイアス^(注1)が生ずる。畏怖して、相手が実物以上によく見えたり、逆に、反動的に、なにかにつけて、わるく、低く見ようとしたりする。

人生、はじめての出会い、すべて、見合いみたいなものだが、③身構えてコチコチになっていると、相手の姿が正確に見えない。特に利害が絡むと、バイアスがかかりやすく、偏った先入観を抱きがちである。ずるそう、おっかなそう、きつそう……など。それは、多分に、④自分側の気持ちを、相手のイメージに投影しているのである。

身構えることなく、フランクに、相手を受け入れることが、いかに難しいか。自分防衛

的な身構えは、相手に対して、ドアを閉じようとしている姿勢である。ある有名なインタビューアーが言ったように、虚心坦懐、自分の心のドアを開け、人に接しようとする心がけが必要である。パッと見た瞬間の印象にとらわれたり、こだわったりすると、人間関係は玄関先でギクシャクする。

(注1)バイアス:偏り

31. ①「印象的である」とあるが、何が印象的だったのか。

- A いろいろな人に会うのは大変だ、と言ったこと
- B いやな人、きれいな人もいる、と言ったこと
- C 人の好ききらいはない、と言ったこと
- D だれにでも初めは虚心で会う、と言ったこと

32. ②「そういうこと」というのは、どういうことか。

33. ③「身構えてコチコチになっている」というのは、どういうことか。

- A 作り上げたイメージを払いのけようとしている様子
- B 相手がこわそうなので、びくびくしている様子
- C 相手に対して心を開かず、自分を守ろうとしている様子
- D 相手も持っている先入観をくずそうとしている様子

34. ④「自分側の気持ちを、相手のイメージに投影している」例として適当なものはどれか。

- A 自分に自信がないと、相手が自分をばかにしているように感じる
- B 自分がさびしいときに相手が楽しそうにしていると腹が立つ
- C 自信過剰な人を見ると、心配になり、注意したくなる
- D 相手が自信がなさそうだと、自分に自信がわいてくる

35. この文章で筆者が最も言いたいことは何か。

- A 先入観と第一印象は人を判断する時に大きく影響する
- B 相手に対する先入観なしに自分の心を開くことが大切だ
- C 第一印象は、その人を判断するのに、全く役に立たないものだ
- D 人間関係は、まず相手のイメージを作りあげることから始まる

文章Ⅱ

和辻哲郎はあの有名な『風土』と言う書物の中で、世界の風土をモンスーン型、牧場型、砂漠型の三つに分け、砂漠型を私たちの住むモンスーン型風土の対極に置いた。そして、モンスーン型の日本人がインド洋を抜けてアラビア半島にたどり着いたときの衝撃を記している。その衝撃とは、気持ちのよさ、楽しさ、うれしさを表現しているのもであって、決してその逆ではない。「人間いたるところに青山あり」などと考えているモンスーン型日本

人が、どこをどう見まわしても青山など見当たらず乾ききった風土に直面した驚きだと言う。初めてであった砂漠は、私にとって、衝撃そのものだった。そこにあるのはただ砂と空だけなのだから。けど、そうした砂の世界に何日か身を置いてみると、①やがて砂は私に何かを囁き始める。そして不思議なことに、今度は自分が住んでいるモンスーン型の日本の風土やそこに繰り広げられている生活が、反世界のように思えてくるのである。砂漠には何もない。何もないと言うことが当然のようになってくると逆に、なぜ日本の生活にはあんなにたくきんのものがあるのか、奇妙に思えてくる。あんなに多くのものに取り巻かれなければ暮らしてゆけないのだろうか、と。もしかしたら、それらのものは全部余計なものではないのか。余計に取り巻かれ暮らしているから、余計なら心配ばかりが増え、肝心の生きる意味が見失われてしまうのではないか…。しかし、待てよ、と私は考える。生きてゆくのに必要なものだけしかないと言うことは、文化がないと言うことではないか。生きてゆく上で必要なもの、それを上回る余分のものこそが、実文化ではないか。②文化とは、言ってみれば余分なものの集積なのではないか。だとすれば、砂漠を肯定することは文化を否定することになりはしまいか…。それにしても、私はさらに考え直す。私たちはあまりに余分なものを抱えこみすぎているのであればこそ文化には違いないが、さりとて、余分なもののすべてが文化であるわけもなからう。余分なものの中でどれが意味があり、何が無価値であるか、それをもう一度見直す必要がありはしまいか…。

砂漠とは、③そうした反省を私にもたらす世界である。④砂漠は現代の文明社会に生きる人々にとって、一種の鏡の国と言ってもいいような気がする。私は砂漠に身を置くたびに。ある探検家がしみじみもたらした次の言葉をかみしめる。「砂漠とは、そこへ入り込む時には心配で、そこから出てゆくときには何の名残もない。そういう地域である。砂漠に何にもない。ただ、その人自身の（ ⑤ ）だけがあるのだ。」

36. 筆者は「①やがて砂は私に何かを囁き始める」と述べているが、砂漠が筆者に囁いたのはどのようなことか。

- A そんなに多くのものに取り巻かれないと生きていけないのか。
- B 日本の風土やそこに繰り広げられている生活は反世界である。
- C 人間いたるところに青山ある。
- D 文化とは余計なものの集積である。

37. 「②文化とは、言ってみれば余分なものの集積なのではないか。」と書いてあるが、この言葉について、あなたの理解を述べなさい。

38. 「③そうした反省」とあるが、どのような反省か。

- A 余計なものに取り巻かれて暮らしていると、生きる意味が見失われてしまうという反省
- B 不毛な何もない砂漠に比べて、自分が日本という緑豊かな国に生きることへの感謝の気

持ち

C 私たちが文化と呼んでいたのは実に余計なもの集積だという反省

D どれが意味があり、何が無価値であるか、考え直す必要があるという反省

39. 「④砂漠は現代の文明社会に生きる人々にとって、一種の鏡の国と言ってもいい」とあるが、どうして「鏡の国」と言うか。

40. (⑤) に当てはまる最も適当な言葉はどれか。

A 心配

B 余計なもの

C 生きる意味

D 反省

41. 筆者の文化の考え方と一致しているものはどれか。

A 文化とは生きてゆく上で必要なもののことである。

B 文化とは余分なもの集積である。

C 余分なものの中で、真に意味や価値があるものが文化である。

D 文化とは生きる意味である。

文章Ⅲ

アダルトチルドレンとは何でしょう。大人子供ではありません。子供時代を子供として子供らしく過ごすことができず、そのまま大人になった人々のことです。両親や家庭環境によって子供時代を歪められて成長した人々です。本来ならば、親と子の適度な境界線があって、子供は一人の人間として愛され尊重され成長するものですが、親に突き放されたり、私有物のように扱われたり存在を無視されたりと、一人の人間として十分に尊重されずに子供時代を過ごして大人になった人々です。こういう家族を機能不全家族といいます。

子供時代の、のびのびとした自由で楽しいひとときを体験することなく、自己信頼感や心の豊かさ、情緒的安定などの能力を十分に得られずに大人になった人々のことをアダルトチルドレンと呼びます。アダルトチルドレンは、慢性的に見捨てられるかも知れないという不安を感じています。これは、親から安定した愛情を得られなかった結果の産物でしょう。親の愛を失うこと、または親に見捨てられることを恐れて育ったからです。なぜなら、彼らの親は子供を自分の都合のいいように愛したからです。親が過保護なら、子供は自分の好きにする自由を放楽して、親の過保護という支配に耐えます。また、親が虐待をするのであれば、それが親の愛と勝手に思い込んでしまいます。

そうして、子供達は親や家庭に自分を合わせ過ぎるのです。子供はどんな親や家庭であろうとも、自分が生き延びるためにはその環境に合わせるしかないのです。これはある意味、①自己喪失にもつながります。自分の人生を自分の人生でないように感じるのです。

さて、私は人が生きるうえで大切なことは、自分が自分のことを信頼することができる自己信頼感であると思っています。自己信頼感があると、好きに行動することや感情表現

を恐れず、他者の評価も過剰に気にせず、自分で人生を切り開く力を持ちます。

この自己信頼感は生まれてから幼少期の間、親に一人の人間として十分に愛され、尊重してもらい、成長するにつれて獲得していく力ですから、親や家庭に成長期を歪められたアダルトチルドレンは、この自己信頼感を獲得しそこなっています。その結果、自分に自信がない、人を信頼できないなどの問題を呈するでしょう。

残念ながら、アダルトチルドレンは生涯アダルトチルドレンです。しかし、その背負っていた、今までの苦しみや症状から回復することはできます。また、その苦しみから得たものをプラスのパワーとして発揮することもできるのです。強く望めば必ずそうなります。

42. アダルトチルドレンとは何か。

43. ①自己喪失の原因は何か。

- A 親や家庭に過剰に自分を合わせ過ぎること
- B 自分に自信がなかったり、人を信頼できないこと
- C 親に一人の人間として十分に愛され、尊重してもらうこと
- D 自分が自分のことを信頼すること

44. この文章で筆者が最も言いたいことは何か。

- A 親や家庭に成長期を歪められたアダルトチルドレンは、自己信頼感を獲得できず、自分に自信がなかったり、人を信頼できないなどの問題を呈するだろう。
- B アダルトチルドレンは、生涯アダルトチルドレンのままである。それゆえ、無駄な努力はせずに、ありのままの自分を受け入れて生きていくことが、何よりも大事である。
- C 人が生きるうえで大切なことは自己信頼感であり、成長するにつれて、獲得していく力なので、親や家庭に成長期を歪められたアダルトチルドレンは自己信頼感を獲得できない。
- D アダルトチルドレンは一生治らないが、その苦しみや症状から回復し、そこから得たものを自分の力として発揮することができる。

45. 子供がアダルトチルドレンにならないように、親はどうすべきか。

四、作文 (30点×1問=30点)

「これからの時代に必要とされる人材」を題にして、八百字以上で作文を書きなさい。

注意：①普通体（簡体）で書くこと。

②漢字を使うべきところは漢字を使うこと。